

菅政権と正面から対決する共産党を伸ばして
 しまづ候補 愛知・離島キャラバン

しまづ幸広前衆院議員（衆院比例にあるディサービスを利用している東海候補）は2月27日、28日、総選が行くまでが大変」と話します。また、島内の診療所は週3回、救急や重症患者は船やドクターヘリで運びます。消防団員は「医療と介護が切実です」と話しました。同島は現代アートを生かした島づくりに入力されていますが、コロナ禍で観光客が激減。カフェや民宿の店主は「客が来ないから休業。持続化給付金でいれている」と訴えました。

●佐久島（写真下）

85歳の一人暮らしの男性は、「島



●日間賀島（写真上）

ビラを配りながら街宣と対話。しまづ氏は総務省幹部接待問題で、菅内閣の対応を批判し、「共産党は菅自公政権と正面から対決し、野党共闘の要です。総選挙で共産党を大きく伸ばし、漁から戻ってつどいに参加した宮地正祥さんは「コロナで昨年4月過ぎから、売り値が例年の半分になった」と話します。また、海水温の上昇や、中部国際空港の影響を指摘し、「空港建設で埋め立てた場所は最高の漁場だった。コウナゴが全く取れない。それをエサにする魚もいなくなった」「いまは食っていくだけで精いっぱい。共産党にがんばってほしい」と語りました。

もとむら伸子衆院議員 何とか私たちの声をすくいあげては2月28日、名古屋タクシ―協会の天野清美会長（つばめ自動車社長）、多田直紀専務理事らと名古屋市内で懇談し実態を聞きま

した。天野氏は「第4波が来たら8割の会社がつぶれる。

名古屋タクシ―協会、労組と懇談
コロナの影響大きく もとむら氏



全自交労連愛知地方連合会（連合）の本田有委員長は、業界で多数を占める中小企業への直接支援を訴え。愛知県自動車交通労働組合の加藤勇作委員長は、全労働者平均と比べて低い賃金がさらに下がっている」と話し、経営支援と乗務員への危険手当などを求めました。

もとむら議員は「公共交通としての役割を果たし住民の足を守っているタクシ―事業が継続できる支援を求めていく」と話しました。

◆各務原市議選・大紀町議選 議席守る◆
 2月28日投開票された岐阜・各務原市議選では現職の波多野こうめ、永治明子両氏が当選し、現有議席を守りました。2人の得票合計は3440票（得票率6・20％）で前回より418票減、19年参院選の党比例票と比べて463票の減でした。
 また、三重・大紀町議選では現職の大東政司氏が当選。大東氏の得票は465（得票率7・90％）票で、前回より115票増、19年参院選での党比例票を103票上回りました。

3月7日（日）静岡市議選勝利をめざす街頭演説会
 ▼11時 秋山町交差点 市川正候補
 ▼13時半 沓谷第一公園 杉本まもる市議
 ▼15時 スーパーアンドウ池田店駐車場 寺尾昭市議
 ▼16時 JR清水駅近く マックスバリュ前 内田りゅうすけ市議
 各市議候補とともに、武田良介参院議員が訴えます。